

JOYO BANK NEWS LETTER

2023年1月11日

笠間市との地域脱炭素の実現を目指した連携協定の締結について

常陽銀行（頭取 秋野 哲也）は、このたび、笠間市（市長 山口 伸樹）、常陽グリーンエナジー株式会社（社長 池田 重人）との間で、地域の脱炭素の実現に向けた各種取り組みを検討・推進していくことを目的とする連携協定を締結します。また、合わせて下記のとおり協定締結式を行いますのでお知らせいたします。

笠間市は、2021年3月に「ゼロカーボンシティ宣言*」を表明し、地域脱炭素に向けた取り組みを政策課題の重要な柱に位置付け、継続的な取り組みを進めています。

総合金融サービスの提供を通じた地域企業の脱炭素、SDGs 対応を支援する当行、および地域のカーボンニュートラルに貢献することを目的に2022年7月に設立された常陽グリーンエナジー株式会社と笠間市の三者がそれぞれに有する情報、知見、ネットワークを活かしながら、地域脱炭素、および持続可能な社会の実現を目指してまいります。

当行は、今後とも、地域の課題解決に向けた取り組みを進め、地域経済の成長と活性化に貢献してまいります。

* 地域のかげがえのない財産を守り、未来の子どもたちに豊かな自然を残すため、CO2の排出量を2050年までに実質ゼロとする取り組みを継続的に実施していく決意の証として宣言したものの。

記

1. 協定締結式

日時 2023年1月12日（木） 午後3時45分から
場所 笠間市役所本所

2. 協定締結者

笠間市、株式会社常陽銀行、常陽グリーンエナジー株式会社

3. 協定における主な連携事項

- (1) 地域脱炭素実現の推進に関すること
- (2) 地域脱炭素実現に向けた普及啓発に関すること
- (3) その他、目的達成に資する取り組みに関すること

以上